



平成 25 年 3 月 29 日

各 位

会社名 合同製鐵株式会社
代表者名 代表取締役社長 栗川 勝俊
(コード番号 5410 東証 第 1 部)

事業用資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日 3 月 29 日開催の取締役会において、平成 25 年 3 月期に、特別損失として事業用資産の減損損失を計上することを決議いたしました。併せて、平成 24 年 9 月 28 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 事業用資産の減損損失の計上について

(1) 減損損失発生理由

形鋼・普通鋼線材を製造する当社大阪製造所は、国内建設需要の縮小並びに超円高の進行を背景とした海外製品の流入による鋼材市況の低迷が継続した結果、赤字状態が継続してきております。上記背景に加え、今般、来期以降想定される電力値上げの影響を事実上織り込んだ将来キャッシュ・フローの見直しを行った結果、同所の保有する事業用資産の帳簿価額について「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、将来キャッシュ・フローの現在価値にまで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上することといたします。

なお、大阪製造所は、将来にわたりキャッシュ・フローを維持し、その事業性を継続・確保する見通しであり、線材・形鋼等の製造拠点として事業を継続いたします。

(2) 平成 25 年 3 月期における減損損失

170 億円程度

(3) 今後の見通し

今回の減損損失により多額の特別損失を今期に計上することになりますが、来期以降のコスト負担の大幅な軽減につながるため、想定される電力値上げ影響は実質的に相殺される見通しであります。

また、当社は足下より全社的な抜本的コスト削減対策を推進中であり、今後、競争力の向上を通じた更なる収益力の回復を図っていく所存であります。

2. 業績予想の修正について

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	127,000	2,300	2,500	1,000	6.20
今回発表予想(B)	123,000	500	800	△16,000	△99.04
増減額(B-A)	△4,000	△1,800	△1,700	△17,000	
増減率(%)	△3.1	△78.3	△68.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	135,809	2,612	2,969	2,434	14.84

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	1,000	200	1.24
今回修正予想(B)	80,000	△700	△16,000	△99.04
増減額(B－A)	△5,000	△1,700	△16,200	
増減率(%)	△5.9	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	95,843	1,132	865	5.28

修正の理由

上記事業用資産の減損損失等を踏まえた新たな予想値を得ましたので、公表いたします。

※本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって変化する可能性があります。また、平成 25 年 3 月期末の配当につきましては、平成 24 年 9 月 28 日にお知らせいたしましたとおり、1 株につき 1 円 50 銭を予定しております。

以 上